

2010年度

科目名	図工科教育法				
担当教員	田中 孝治				
配当	教福3			コード	23570
開期	後期	講時	火曜日3限	単位数	2
授業テーマ	小学校における図画工作科の教育法を修得する				
目的と概要	「子どもの造形」がもつ特性を、発達の過程や表現などを通して明らかにし、造形することの意義や図画工作科の本質、教育の目標を考察する。さらに、図画工作科学習指導案の作成演習や実技実習を通して、子どもの造形表現に必要な基礎的・基本的なことからについて、その取り扱いを修得する。また、図画工作科授業を通して一人一人の子どもの表現能力を高め、その育ちをどのように伸長させるのか、学習方法について研究を進める。				
成績評価法	・学習の様子(20%)・提出レポート(含・学習指導案)(30%)・模擬授業(20%)・期末テスト(30%)などによって総合的に評価する。				
テキスト	使用しない				
参考書	小学校学習指導要領 解説・図画工作編 文部科学省(日本文教出版)				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
回	講義				
第1回	図画工作教育法研究の意義、美術教育の流れ				
第2回	学習指導要領と図画工作教育の目標				
第3回	内容構成及び学年別目標				
第4回	造形遊びの内容と指導例				
第5回	絵や立体に表す内容とその指導例				
第6回	工作に表す内容とその指導例				
第7回	材料用具の種類とその取り扱い方				
第8回	鑑賞活動の重要性とその方法				
第9回	題材設定のあり方と授業の進め方				
第10回	図画工作科授業の計画立案				
第11回	計画をもとにした学習指導案の作成①(試案)				
第12回	計画をもとにした学習指導案の作成②(完成)				
第13回	自作の指導案をもとにした模擬授業と研究協議①				
第14回	自作の指導案をもとにした模擬授業と研究協議②				
第15回	学習のまとめ—これからの教科教育				